一身田の新聞
発行　一身田地区社会福祉協議会
編集長　岡本博和
バックナンバーはこちらから
http://miegenki.jp/jinai/?page_id=103

特集　寺内町まつり

祭りを通して街を活性化

秋本番を迎え「祭り」を楽しむ季節がやってきた。「見て楽しむ、参加して楽しむ、参加している人を見て楽しむ」など、楽しみ方はそれぞれである。寺内町まつりは11月18日(日)寺内町及びその周辺で行われる。商工振興会主催の「和婚」とタイアップして益々進化している。スタッフも高校生から大人までいろいろな人が集まり、祭りの企画を練り上げる。一中生徒による「一中カンパニー」は、物の流通や販売を通して社会の仕組みを学ぶ機会となっている。祭りは、街づくりや地域の絆作りを深め街の活性化の一翼を担っている。

7月から9月まで　写真で見る一身田のできごと

平成9年11月16日、一身田寺内町まつりの前身「街道まつり」が伊勢別街道の歴史的資源を生かし、地域の活性化を図ることを目的に津地域広域行政組合主催で行われた。

第一回街道まつりは、商工会、自治会、婦人会、子ども会はじめ、各種グループがそれぞれの得意分野を持ち寄り企画立案を行い20のイベントが組まれた。特に一小演劇クラブの児童劇はマスコミに大きく取り上げられた。子供みこし、人力車の寺内町散策、伊勢木綿の手織り実演、カラオケ大会なども行われた。この街道まつりの影響は寺内町ほっとガイド会の誕生、寺内町花いっぱい運動、寺内町の館の建設、寺内町の整備、津市景観計画第一号などその後に大きな影響を及ぼした。しかし、広域行政主催の街道まつりはスケールが大き過ぎ、「地に足のついた祭りがしたい」との住民の要望に応え、一身田独自の祭り「寺内町まつり」が誕生した。

年に10回の会議を持ち、地元住民には趣旨を伝えるための説明会を開催し、PRに努めた。新たにフリーマーケット、短歌の会、いけばな展、子ども木工教室、インターネット体験コーナー、津市と友好姉妹都市を結んでいる北海道上富良野の物産展も加わった。

寺内町まつり　今

22回目を迎える寺内町まつり。益々規模を拡大し、進化している。5年前から商工会主催の「しあわせ和婚」も加わり華やかさが倍増した。

催し物も30以上となり、一中生徒による「一中カンパニー」は自分たちの手作り品を販売、メイン会場ではサポーター一中や津西高校放送部、よさこいグループ「極津」が会場を司る。

「趣味や特技を是非この会場で披露してください。祭りはみんなのものです」と実行委員の中西万喜夫さんは呼びかけている。

しあわせ和婚

よさこい踊りを通じて知り合った二人、新郎の松村さんと新婦の真田さんです。新婦は高田幼稚園の先生です。結婚パレードが行われます。みんなでお二人の門出を祝福しましょう。

吉田貞次郎さんのこと

一身田ほっとガイド会　若林泰弘

一身田で育まれた郷土の偉人たち、シリーズ第2回目は三浦綾子の泥流地帯のモデルにもなった田中貞次郎です。

「この建物は、大正15年十勝岳噴火による泥流からの復興に東奔西走した当時の村長吉田貞次郎の住宅を解体復元したもので…」これは、かみふらの開拓記念館〝の説明にでてくる記述です。

この記念館の入り口には、上富良野開拓の先頭に立った田中常次郎さんとともに、吉田貞次郎さんの胸像が立っています。

吉田貞次郎さんは、大正15年の大災害から上富良野を復興させる中心になった人で、現地では開拓の先駆者田中常次郎さんとともに、今もその功績が語り継がれています。

この大災害は言語に絶するものでしたが、吉田さんは村を復興させる先頭に立たれたのです。この間の経過は三浦綾子さんの「泥流地帯」という小説に詳しく綴られています。その吉田さん、実は一身田の出身なのです。本山にはお墓もあります。田中さんらの入植から3年後の明治33年、お父さんの貞吉さんらとともに、上富良野へ入植されました。成長されて、26歳で村議会議員、35歳で村長になられ、昭和17年には衆議院議員になっておられます。昭和23年63歳で亡くなっておられますが、その功績は現地では開拓の先駆者田中常次郎さんとともに、今も語り継がれています。

上富良野と津市が友好都市提携を結んで、今年で20年を迎えました。その上富良野は、私たちの町一身田とも深い結びつきがあるわけです。現地には高田派のお寺もありますご住職は高田派の新しい宗務総長さんです。また、現在一身田公民館の寿大学などで講師をして頂いている中道和久さんは貞次郎さんの弟、修三郎さんのお孫さんです。

上富良野復興の中心になられた吉田貞次郎さん。その吉田さんが一身田のご出身であったということは、上富良野と私たちのつながりを、いっそう身近なものに感じさせてくれることではないでしょうか。

ため池ハザードマップについて

一身田地区自主防災協議会　会長　岡野勇治

津市内に約400箇所のため池がありますが、これらが大震災の時の脅威になり得ると懸念されています。そこで、津市はこの度「ため池ハザードマップ」を作成し、危険がある地域にこのマップを各戸配布しました。このマップは、満水状態のため池が豪雨や地震によって破壊した場合を想定し、浸水到着時間、浸水想定地域、浸水深を色別で表示し、避難場所も記載されています。先日の西日本豪雨では早くから特別警報が出されたものの多くの犠牲者が出たことに対し原因究明の必要性が求められていますが、このマップが戸別配布された意義をご理解いただき、自宅、学校、職場や通勤、通学、買い物経路等に、ため池の危険を日常的にチェックするなど公助、共助が及ばない自助の対策を急がなければなりません。

津市が発行しているため池ハザードマップ

津市へ要望　早期実現を！

自治会や地区社協の構成団体は津市へ多くの要望書を提出している。とりわけ市長と語る地域懇談会は6回を数えている。

継続している要望としては、一身田小学校の校庭の砂塵対策や芝生化、校庭内のトイレ改修、南グラウンドの水はけ問題。街の景観問題として、寺内町内の電柱の地中化、空き家や空き店舗の抜本的な対策、街路灯の所有者が一部個人所有や団体の物もあり、倒壊時の責任問題などが要望として出されている。

道路に関しては、高田本山から一小までの道路の拡幅、県道10号線の交通安全対策、獣害、特にイノシシやアライグマなど捕獲しても捕獲しても追いつかない現状などが出されている。

住みよい街、安心、安全な街作りは喫緊を要するものもある。是非、早期の実現化が望まれる。

敬老のつどい

元気なお年寄りを表彰

9月16日、一身田地区敬老のつどいが三重県人権センターで行われた。

今年の高齢者表彰の対象者は、桃澤基一さんと飯田みつゑさんの二人でした。会場では、二人をご紹介するとともに、これからも健康で生き生きとした人生を重ねられることを祈念して水谷千春一身田地区社会福祉協議会会長より二人に表彰状と記念品が贈られた。（表彰式、イベントなどの写真は裏面に）。

町民運動会が行われる

秋の長雨の谷間を縫って9月23日一小グラウンドで第44回町民運動会が開催された。この日は、幼稚園児から90代の年配の方まで約400名が参加、健脚を競った。

町民運動会らしく笑いの競技あり、ほほえましい競技あり、ロードレースありとスポーツの秋を楽しんだ。

小学校4年・5年・6年による障害物競争

公民館からのお知らせ

深まる秋　誘い合って文化祭へ

10月21日(日)に作品展示を公民館で、27日(土)に学習発表会を高田会館ホールにて行います。講座生の力作や熱演をぜひご覧ください。なお、今年は建替工事のためバザー等は実施いたしませんので、ご了承ください。

囲碁を楽しみませんか

10月28日(日)に秋の囲碁まつりを一身田公民館で行います。囲碁に興味・関心のある方はぜひ参加してください。詳細は、広報津10月1日号をご覧ください。

写真で見る一身田のできごと

2018.7月～9月まで

7月21日　一小でグラウンドゴルフ大会が行われ、140名の参加がありました

9月4日　台風21号で一身田も停電や倒木などの被害がでました(一身田団地西公園)

7月8日　青年団主催の七夕まつりが行われました

7月19日　一小会議室で6回目の地域懇談会が行われました

8月12日　高田本山で盆踊り大会を開催、行燈コンクールも行われました

9月16日　人権センターで敬老のつどいがが行われ、元気なお年寄り男女2人が表彰されました

9月23日　一小グラウンドで町民大運動会が開催され、400人がスポーツの秋を楽しまれました